

※県政記者クラブ加入各社のうち、静岡市内の支局に FAX 送信しています [送信 3 枚]

提 供 日 2019/10/23

タイトル 東南アジア学会 第 101 回研究大会

担 当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学

国際関係学研究科 下條尚志

発信担当者 054-264-5364



静岡県立大学記者提供資料

東南アジア学会 第 101 回研究大会

東南アジア学会 第 101 回研究大会が、下記のとおり静岡県立大学で開催されます。

大会期間中には、同学会と本学グローバル・スタディーズ研究センター共催によるシンポジウム「東南アジアと日本の長期変動—人口変動・労働移民・少子高齢化」が行われ、本学の鬼頭宏学長と高畑幸国際関係学部教授も発表者として登壇します。

報道機関の皆様におかれましては、参加者の募集告知と当日の取材をお願い申し上げます。

記

◆日 時 シンポジウム 2019 年 11 月 23 日(土) 13:00～15:45
東南アジア学会 2019 年 11 月 23 日(土) 9:00～18:35
11 月 24 日(日) 9:00～16:10

◆会 場 シンポジウム 静岡県立大学 草薙キャンパス 大講堂
東南アジア学会 静岡県立大学 草薙キャンパス 国際関係学部棟
※駐車場の用意はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

◆内 容 東南アジア学会 第 101 回研究大会の中で、同学会と本学グローバル・スタディーズ研究センター共催によるシンポジウム「東南アジアと日本の長期変動—人口変動・労働移民・少子高齢化」を開催し、大阪大学の桃木至朗教授、京都大学の速水洋子教授、本学の鬼頭宏学長と高畑幸教授（国際関係学部）が登壇します。過去千年の間に東南アジアと日本が経験した長期変動を比較し、近年急速に進展する人口変動、労働移民の流入、少子高齢化を検討します。国境線にとらわれずにアジアというグローバルな空間を設定し、各地で相互に関連して進んできた長期変動のなかで現在を理解することを試みます。

◆参加等 どなたでも参加可能です。（予約不要・参加費無料）

◆その他 具体的なスケジュールは、添付資料をご参照いただくか、次の URL よりご確認をお願いします。

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/events/20191123/>

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学研究科 下條 尚志

電話 054-264-5364

東南アジア学会第101回研究大会(2019年11月23日～24日)シンポジウム

東南アジアと 日本の長期変動

—人口変動・労働移民・少子高齢化

The Longue Durée in Southeast Asia and Japan: Demographic Change, Labour Migration, and Aging Societies

過去千年の間に東南アジアと日本が経験した長期変動を比較し、近年急速に進展する人口変動、労働移民の流入、少子高齢化を考える。国境線にとらわれずにアジアというグローバルな空間を設定し、各地で相互に関連して進んできた長期変動のなかで現在を理解する。



2019年 **11/23** **土** 13:00～15:45

静岡県立大学草薙キャンパス 大講堂

静岡市駿河区谷田 52-1 (JR 東海道線草薙駅・静鉄草薙駅から徒歩 15 分)

参加費無料

非会員でも参加可能
予約不要

スケジュール

- | | | | |
|-------------|--------------------------------------|------------------|--|
| 13:00-13:05 | 趣旨説明 | 司会 玉置 泰明(静岡県立大学) | |
| 13:05-13:30 | 日本列島における人口の長期変動と文明システムの転換 | 鬼頭 宏(静岡県立大学) | |
| 13:30-13:55 | 人口と人の移動から見た東南アジアの長期変動 | 桃木 至朗(大阪大学) | |
| 13:55-14:20 | 高齢化する東南アジア社会は日本と同じ道をたどるのか—タイの事例から | 速水 洋子(京都大学) | |
| 14:20-14:45 | 東南アジアから日本への「労働力」と「人」の移動:1980年代以降を中心に | 高畑 幸(静岡県立大学) | |
| 14:45-15:15 | 発表者による相互コメント | | |
| 15:15-15:45 | 会場からの質疑と応答 | | |

主催：東南アジア学会 共催：静岡県立大学国際関係学研究科附属グローバル・スタディーズ研究センター

研究助成：静岡県立大学教員特別研究推進費(令和元年度・代表・下條尚志)「東南アジア学会第101回研究大会」